

心構え

被害に遭わないためには、日ごろの心構えが大切です。

1 危険を避ける

犯罪が発生しやすい時間・場所を避けることが大切です。夜間の外出や暗い道、人通りの少ない道は避けて通るようにしましょう。

2 用心する

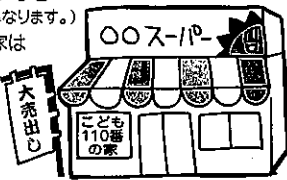
外出をした時は、家に入るまで「もしかしたら被害に遭うかもしれない」と気を抜かないようにしましょう。また在宅中、訪問者がある場合等でも、安易に他人を中に入れないようにしましょう。



3 周りに協力を求める

一人でやむを得ず、危険な場所を通らなければならない時には、他の通行人を待って一緒に通ったり、いざというとき駆け込んで助けを求められる店や、家の場所を把握しておきましょう。

※「子ども110番の家」
(地域によって名称は異なります。)の看板が張ってある家は子どもだけに限定せず協力してくれます。



手段

いざという時、相手のスキを作り、逃げるチャンスを作ります。

1 声を出す

予測もしないような大きな声や音を出し、相手が一瞬ひるんだ隙に逃げましょう。大声を出したために、未遂で終わった例も数多くあります。

2 身近な物を利用する

・傘やカバン...振り回す
(傘を相手に向けて勢いよく開くだけでも効果的です)
・ペンや携帯電話のアンテナ...突きつける
・砂や石...投げつける
物への執着心を捨て、自分の体だけを守りぬく事を第一に考えましょう。



3 踏みつける、ひっかく、噛み付く

②③にあつては、所かまわずやってもダメージを与えることはできず、逆に相手を逆上させてしまうこともあります。これらのことをより効果的に行うためには

急所

を狙うと良いでしょう。

※中途半端にすると、相手が逆上する恐れがあるのでやる時は、思いきりやること!

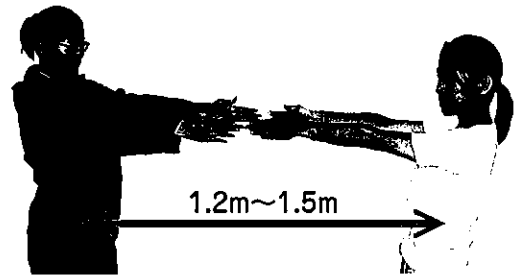


○...急所箇所

急所とは...
人間がなかなか鍛えることのできない所(弱点)のこと

安全圏

道を歩いていて不意に声をかけられたときには、安全で相手に対しても失礼ではない距離を取りましょう。逃げる時間を稼ぐことができます。



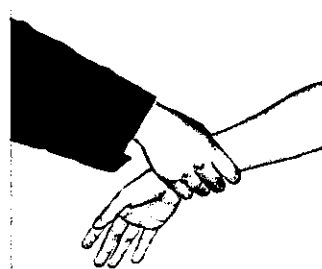
相手が車に乗っている場合も、安全圏を取ろう!!



離脱技

1 腕回し

相手から逃れるために行う最終的な手段です。ここでは、簡単なものを2種類紹介します。



片腕を捕まれた場合



両手を掴むように組んで



腕を曲げずに大きく回し

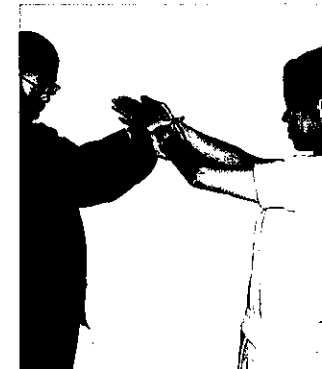


最後に振り切る

2 合掌取り



両腕を捕まれた場合



両手を「バンッ」と上に向かって叩く

それでも外れない場合



合わせた手を相手の顔に向けて突き出す。